

令和5年度第1回美濃市公共交通活性化協議会

(会議録)

■会議の日時及び場所

<日時>

令和5年6月28日(水) 午前10時00分～午前11時00分

<場所>

美濃市防災・中央コミュニティセンター 2階大会議室

■出席した委員及び説明のために出席した者の職、氏名

<出席した委員>

委員 21名

委員 2名欠席

<説明のために出席した者の職、氏名>

美濃市総務部総合政策課 課長

武藤 成弘 (事務局)

美濃市総務部総合政策課 課長補佐

篠田 啓介 (事務局)

美濃市総務部総合政策課 主事

井尻 和 (事務局)

■議事の件名及び経過の要点

議題

(1) 令和4年度事業報告について (2) 令和4年度決算について

出席者全員により承認

(3) 令和5年度事業計画(案)について (4) 令和5年度予算(案)について

出席者全員により承認

(5) 美濃市地域公共交通計画の策定について

出席者全員により承認

○委員出席者（21名）

区分	所属	役職	氏名
市長またはその指名する者	美濃市	市長	武藤 鉄弘
一般旅客自動車運送事業者およびその組織する団体の代表者またはその指名する者	岐阜乗合自動車株式会社	営業管理部 交通政策担当	宮部 敬輔
	公益社団法人岐阜県バス協会	専務理事	木村 治史
	美濃タクシー株式会社	代表取締役	長瀬 輝彦
	長良川鉄道株式会社	専務取締役	坂本 桂二
住民または利用者の代表	美濃市連合自治会	会長	小林 隆男
	美濃市社会福祉協議会	会長	林 信一
	美濃市ボランティア連絡協議会	会長	長尾 瞳
	美濃市シニアクラブ連合会	会長	村井 安實
	美濃商工会議所	女性会会長	景山 啓子
	美濃市小中学校校長会	代表	岩見 浩二
	武義高等学校PTA	会長	中島 千春
国土交通省中部運輸局岐阜運輸支局長またはその指名する者	中部運輸局岐阜運輸支局	首席運輸企画 専門官	渥美 宏
一般旅客自動車運送事業者の運転者が組織する団体の代表者またはその指名する者	岐阜乗合自動車労働組合	執行委員長	正村 明
国土交通省中部地方整備局岐阜国道事務所長またはその指名する者	中部地方整備局岐阜国道事務所	計画課長	木村 昭雄
岐阜県美濃土木事務所長またはその指名する者	岐阜県美濃土木事務所	道路課道路調 整監	吉村 英市
岐阜県関警察署長またはその指名する者	岐阜県関警察署	交通課長	池ノ上 英文
岐阜県都市建築部公共交通課長またはその指名する者	岐阜県都市建築部都市公園整備局公共交通課	課長補佐	酒井 麻里
市長が交通会議の運営上必要と認める者(学識専門 者、行政関係)	大同大学工学部建築学科 土木・環境専攻	准教授	樋口 恵一
	美濃市	総務部長	永田 幸泰
	美濃市	建設部長	栗本 実

○委員欠席者（2名）

住民または利用者の代表	美濃市観光協会	会長	且野 隆晃
	美濃市連合PTA	代表	山岡 江美子

各委員からの意見

(中部運輸局岐阜運輸支部 渥美氏)

- ・美濃市公共交通計画の p. 63 以降に記載してある目標達成のための事業について、R5 年度事業計画案としてどのように進めていくかなど具体的な内容をお示ししていただくと良かったと思う。

→ (事務局)

- ・今後は美濃市地域公共交通計画の達成に向けて年度内に行う具体的な活動内容を示していくような形で対応したい。
- ・R5 年度は「のり愛くん」のマイナンバーカード導入やオンライン予約を開始する。今後はデジタル技術を活用したサービスの提供に特に力を入れていきたい。

(大同大学 樋口准教授)

- ・年度 1 回目の会議は、新たな施策等を課題に盛り込み、より実効性の高い協議会となると良い。
- ・「のり愛くん」の予約 IT 化に伴い、美濃市地域公共交通計画 p. 70 にある高齢者向けのスマホ教室を開催するということは非常に良い。
- ・一方、資料 4 では希望される地区での説明会と書いてあり、本来システムが変わるのであれば全地区を対象として説明会を行うことが求められるのではないかと。

→ (事務局)

- ・対象は幅広く、特に高齢者の方は各自治会などと連携して対応していきたい。また、相談窓口を設置し、スマホの操作や予約の仕方などをより丁寧にきめ細かく対応できるよう検討する。

→ (大同大学 樋口准教授)

- ・スマホ教室も事前にどのような説明が分かりやすいかを自治会長などに相談するなど、市民目線で説明するというプロセスを取るのが理想的であると思う。

(美濃タクシー株式会社 長瀬代表取締役)

- ・のり愛くんの予約システムが 4 月から変わって、ご迷惑や混乱を生じさせた。
- ・以前のシステムはオペレーターの手作業によってある程度整理し、可能な範囲で効率よくやったところが、今は AI が全て配車しているため、融通が利きにくいというデメリットがある。システム業者と相談しながら日々改善をしているところである。
- ・今後導入予定のスマホ予約では、あらかじめ事前周知としてのアナウンスが必須であると感じている。高齢者の方にはスマホを持っていない方や、持っても活用しない人が多い。現状、より丁寧に説明しないとなかなか普及しないのではないかと。

→ (事務局)

- ・「のり愛くん」の 4 月以降のデータが蓄積されるため、今後改善できたらと考えている。
- ・スマホ予約については利用者に対して丁寧に説明を行うとともに、美濃タクシーと連携して、より良いシステムにし、市民の皆さまに安心して使っていただけるようにしたいと考えている。

(美濃市シニアクラブ連合会 村井会長)

- ・「のり愛くん」のシステム改善について、いつまでにそれをやり切るか期限をつけなければいけないと思う。
- ・美濃タクシーだけではなく、市役所も一体となって対応する必要があると思う。
- ・実際に市役所の方ものり愛くんに乗って、肌で感じたことを改善しないとただの机上論で終わってしまう。

→ (武藤会長)

- ・過去の配車は地区ごとに車両が決まっていたため、余っている車両をできるだけ効率よく稼働させようというのが今回作ったシステムである。過去の課題を解決すると次の課題が出てくるということがあり、少し慣れるしかないかなとも思う。
- ・融通が利きにくい現在のシステムにどのように対応するかが今後課題になってくる。

- ・今のままの状態がいいという判断をしてしまえばこれ以上の進歩はなく、やはり新しいことを考えていく必要があると思う。例えば、今後は無人自動運転の運行とデマンドをどう組み合わせるかを考えることも必要になると思う。

(岐阜県バス協会 木村専務理事)

- ・バス業界における現状の課題としてトラックの2024年問題がある。トラック物流に限らず、バスなど公共交通事業の運転手不足が課題になっている。
- ・美濃市においても、岐阜美濃線や牧谷線に係る人材不足が今後どのように影響するか懸念がある。
- ・運転手も外国人労働者の雇用を検討しないといけない状況になっている。
- ・今後ドライバーの待遇を改善しないとなかなか人が集まらない。公共交通の人手不足は、市民の皆さまの足に関わる問題である為、自治体や皆さまのお知恵を借りたい。このような課題についてご理解ご協力をお願いしたい。

(岐阜乗合自動車株式会社 宮部氏)

- ・運転手不足による処遇改善、燃料高騰などの理由から運賃改定の予定をしており、ご利用されている皆様には負担をかけるということになってしまうがご理解いただきたい。
- ・10月から予定しており、値上げの幅は7パーセントを予定している。

(美濃タクシー株式会社 長瀬代表取締役)

- ・タクシーはLPGで走っており、近年LPGを充填する場所が減少している。来月の7月から美濃市内のLPG充填所がなくなる。
- ・タクシー業界でもドライバー不足は緊急の課題であり、抜本的な構造改革が必要になってくると感じている。
- ・私たちの努力も必要だが、行政等の力も借りて、運転手という業種のイメージ向上ができればと考えている。

(岐阜国道事務所 木村課長)

- ・岐阜国道事務所では新たな東海環状自動車道西回りの整備を進めている。新たな高速道路ができれば、この沿線地域の交通の流れというものも大きく変わってくる。
- ・美濃市地域公共交通計画のp.59の中で広域的な公共交通網の維持・確保により都市間のつながりの強化を挙げられているため、新たな高速道路を美濃市の地域活性化に活かしていただきたい。

(大同大学 樋口准教授)

- ・公共交通事業における利便性という観点で利用者側から見ると、行政からの補助があるため不自由なく過ごせていると思う。しかし、事業者側から見ると人材不足等多数の問題を抱えているのが現状である。また、運賃改定など利用者への費用負担も再検討することも必要になると思う。
- ・今後、例えば医療施設や商業施設などに費用負担を求めることも公共交通を守っていく観点から必要なことかもしれない。
- ・また、観光客向けの公共交通の仕組みも検討する必要がある。
- ・交通事業者を下支えするという観点でもう少し本腰入れて費用負担や施策を協議会で議論していくことがより重要である。

(武藤会長)

- ・今後、利用者側と事業者側の両方の立場になり、何が必要かをこの場で議論し、施策を進めていきたい。